

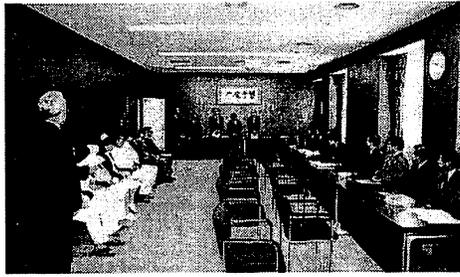
# 旭川医大病院ニュース

## 昭和61年度 医療監視行われる

去る一月二十七日(火)

午前十時から病院会議室において、北海道旭川保健所長ほか九名により昭和六十一年度の医療監視が行われました。

この医療監視は、医療法第二十五条に基づき毎年実施されるもので、厚生大臣、都道府県知事又は保健所を設置する市の市長は、必要があると認めるときは医療監視員に病院等に立ち入り、その清潔保持の状況、構造設備若しくは診療録、助産



職員紹介

題字は吉岡前病院長  
(編集)  
旭川医科大学医学部附属  
病院広報誌編集委員会  
委員長  
宮岸教授(精神科神経科)



書類審査

録その他の帳簿書類を検査させることができることとされています。

このたびの医療監視による各所立ち入り場所は、病棟(小児・ICU)、薬剤部(調剤室・製剤室)、検査室、診療放射線室、洗濯関連施設、厨房関連施設、高置水槽室、中央機械室、焼却施設、防災センターと広範囲にわたり、また、書類審査においても旭川保健所職員と本院関係者の間で活発な意見交換が行われました。

### 日本人的スピリット

二十数年前、鉄の街室蘭で約五年間を過ごした。当時は高度経済成長を象徴するかのよう立並ぶアパートの白壁を赤茶色に染め、風向きによつては洗濯物が干せないほどのキラキラ光る鉄粉まじりの煤煙の街であつた。

二年前、高校の同窓会があり、十年振りにバイパスで結ばれ、すっかりきれいな街になった室蘭をたずねた。当時、大手鉄鋼企業に就職し高度経済成長を支え、アマチュアスポーツの隆盛に青春を送った同級生

医療監視も午後三時すぎには無事終了となり、最後に旭川保健所から特に不都合事項もなく良好である旨の講評がありました。

なお、本年一月に旭川市内の料亭において食中毒が発生し、四日間の営業停止となったことが話され、冬場とは言いながら、暖房があるの、夏場と同様に食品の取扱ひについては細心の注意をお願いしたい旨の要望がありました。関係各位の御協力ありがとうございました。(庶務課調査係)

直業務には入らないのである。ここ数年、財政的圧迫により老人保健法などの医療費抑制策が積極的に導入されている時代に、とんでもないことなのであろうか。しかし、どうも日本人的スピリットを要求されているようである。

会田雄次氏(文芸春秋三月号)のコラムに「彼らは七時間なら七時間の時間内、決められた仕事を真剣にやっている。日本人は二十四時間働いているのではなく二十四時間動いていないと気がすまない。(略)どちらが勝つかという勝負で日本が勝っている。今の所は：(略)という一節がある。

不況の中で仕事のない同級生は、日本人的スピリットをどう持ち続けていくのか。そういう私も日本人的スピリット感覚で生きていくのであろう。

もう十年も前になるがボストン小児病院に二年間勤務した。よく、アメリカとの臨床検査、緊急検査体制を比較されるが、多くは重要な部分、即ち、勤務体系を端折って論じられている。ボストングループの求人広告欄に「夜間勤務MT募集、勤務時間十七〜二十四時、T社オートアナライザー経験者」と掲載されていた。このように平常勤務を終え、続けて緊急検査のために宿



(検査部 信岡 学)

# 各種委員会の紹介(2)

## 【給食委員会】

給食委員会は附属病院運営委員会の下部組織であつて、病院給食に関する重要事項について協議し、その結果は運営委員会に報告あるいは審議の対象になることもある。その他、一部の委員は検査業務をもち、いわばユーザーの立場で包括的な助言を行うことになつている。

昭和五十一年度、給食部専門部会として、当時第一内科坂井助教、小児科奥野助教が担当されて発足任期は一年で、翌五十二年度には教官二名のほか副看護部長、病棟婦長が加わつて四名構成となつた。昭和五十五年からは給食委員会と改称。五十二年からは臨床系教授が部長あるいは委員長をつとめ、昭和五十六年度に医事課長、五十八年度には主任栄養士が加わり、その構成は六名となつた。

病院発足当初の部会メンバーの御苦労は並々ならぬものであつたようであるが、給食業務が軌道に乗つてからは、嗜好調査、厨房の二三の改造工事、設備・備品の改廃・更新などの協議を

本院の患者給食については、献立、食器、配膳時間など、関係職員の努力によつて、好意的な批評を戴くことが多い。ちなみに、某科入院希望の某氏は、その理由にまず本院の給食の評判のよいことを挙げて、外来担当の某医師を絶句させたという噂があつた程である。

ここで長期の展望に触れるならば、入院患者年齢層や嗜好の変化、特別食の増加などユーザー側の動向、また厨房その他給食関係の職場の改善に関する諸問題など、持続的な検討を必要とする事項がある。病院という組織運営の基礎業務の一つである給食の円滑な実施のために、院内各位の忌憚のない御批判・御助言を期待して止まない。

給食委員会委員長

小野寺 壮吉

(第一内科)



## 【薬剤部】

### 新薬紹介(13)

アズレンスルホン酸ナトリウム製剤(徐放性挿入錠アズノールST)

咽頭、口腔領域における炎症性疾患に対し、局所に直接作用させ効果を期待する剤形としては、含嗽剤、トローチ剤が常用されています。しかしながら、含嗽は作用が一時的なため、効果をあげるには頻回に投与する必要があります。またうがいのために洗面所等へ行くねばならず、コンプライアンスにも問題があります。

一方、トローチは服用の便利さの点で含嗽剤の欠点をカバーしてはいますが、服用時の物理的、化学的な刺激により、唾液量が増加し、比較的短時間に溶解、嚥下されるため、作用の持続性に欠けております。

このような口腔内投与剤の欠点を考慮して開発されたのが本剤であります。主薬は含嗽剤に常用されているアズレンスルホン酸ナトリウム(GASN)で、一錠中に5mg含有する口腔内投与の徐放性製剤であります。

主薬であるGASNは金属性光沢のある暗青色の化合物で、特有の7員環を有しています。ヨーロッパで

は古くから民間薬としてカミツレが使われておりますが、その有効成分はカムアズレンであり、GASNはその類縁体であるグアアアズレンの水溶性誘導体であります。GASNは消炎作用、創傷治癒促進作用を有し、口腔、咽頭、皮膚領域で表在性の炎症性疾患の治療薬としてすでに含嗽や軟膏で用いられて、また胃炎、胃潰瘍の治療薬として内服で用いられております。

## 人事異動

本剤は特許の製造法による裸錠で、上顎の歯肉口唇移行部に挿入・保持し、唾液により有効成分を徐々に溶出させ、有効濃度を長時間一定に保つように設計されております。挿入中の溶解時間と唾液中に溶出する主薬の濃度を如何に一定に保つかという製剤学的な検討の結果、有効濃度40%以上を約90分間持続するということであります。

二重盲検試験を含む国内約八〇〇例の臨床試験で約70%の有効率が報告されております。

効能・効果は咽頭炎、扁桃炎、口内炎、急性歯肉炎、舌炎、口腔創傷で一週一錠一日四回用いるとなつております。

副作用は、悪心、胃部不快感などの消化器症状が主

## 【医長交替】

外来医長

第二内科

岩田 光高助手

(旧) 秋山 建児助手

(2月1日付)

脳神経外科

佐古 和廣助手

(旧) 田中 達也講師

(1月12日付)

病棟医長

田中 達也講師

(旧) 佐古 和廣助手

(1月12日付)

脳神経外科

田中 達也講師

(旧) 佐古 和廣助手

(1月12日付)

脳神経外科

【昇任】  
泌尿器科学講座  
助教授 徳中 莊平 (2月16日付)

第二内科 講師 衛藤 雅昭 (3月1日付)

【採用】  
内科学第二講座  
助手 岩田 光高 (2月1日付)  
助手 山口 聡 (2月1日付)

泌尿器科 助手 山口 聡 (2月1日付)

眼科 助手 田川 博 (3月1日付)

【辞職】  
内科学第二講座  
助手 秋山 建児 (1月31日付)

泌尿器科 助手 西原 正幸 (2月28日付)

眼科 助手 小笠原博宣 (2月28日付)

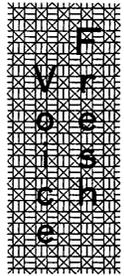
【配置換】  
泌尿器科学講座助手・泌尿器科 助手 岡村 康晴 (2月16日付)

第二内科助手・内科学第二講座 助手 滝山 義之 (3月1日付)

【所属換】  
放射線科助手・放射線部 助手 石澤 貢 (2月1日付)

脳神経外科





窓口にて:

医事課

河本 雅弘

小学校の時の読書感想文以来の原稿用紙を前にして当惑しているうちに、原稿の提出期限がすっかり過ぎてしまいました。幾分違いますが、窓口業務に就いて患者さんとの接し方などについていろいろ考えさせられているうちに、もう一年になろうとしています。

人と接する場合、いかに相手の立場にたつて物事を考えられるかということ、又それをどう言葉として表現できるかということが、大変重要な事だと思えます。病院の窓口従事者にとつてその相手は患者さんですので、より以上の気遣いが必要となつてきます。

しかし、この当り前の事をその日の気分、その時の状況などによつて、出てこないことが多分にあります。特に、忙がしい時には気のいらだちと、患者さんの待ち時間短縮のあせりも手伝つてか、対応の仕方は最低、最悪の状態になつていくと思われまふ。業務の迅速さと患者さんへの対応の良さは相対するものではないの

ですから、もうすこし心にゆとりを持って両立させなければいけないと痛感しています。これからも窓口に従事するにあつて、自分も窓口という病院の顔の一つなのだといふ意識をもつとしっかりと持ち、患者さんとのなげない対応の中に自分なりの優しさをさりげなくそして精一杯込めていきたいと思ひます。

自分でもこの様な考えを持って居るのかという事に疑問を抱きながら、又毎日窓口へでるのです。 「ピンポーン」「〇〇さん、〇〇××さん、七番までおこし下さい」

業務を行なつております。主な業務は注射薬、処置・診断用薬および麻薬の出納・保管であります。

現在、薬品管理室で取り扱っている医薬品の品目数は約七百品目(内、注射薬は六百二十品目)で、当院で採用されている医薬品全体の三分の一に相当します。

一日の業務は、外来および病棟等からつぎつぎと送られてくる薬品請求伝票の整理から始まります。これに基づき各科ごとに医薬品を取り揃え、監査した後払い出しております。医薬品の持つ特殊性を考慮し出来る限り迅速かつ正確にと心が



薬品管理室の紹介

薬品管理室

薬品管理室は現在薬剤師一名、技官一名と、午前中他室から一名の応援を得て

業務を行なつております。主な業務は注射薬、処置・診断用薬および麻薬の出納・保管であります。

現在、薬品管理室で取り扱っている医薬品の品目数は約七百品目(内、注射薬は六百二十品目)で、当院で採用されている医薬品全体の三分の一に相当します。

一日の業務は、外来および病棟等からつぎつぎと送られてくる薬品請求伝票の整理から始まります。これに基づき各科ごとに医薬品を取り揃え、監査した後払い出しております。医薬品の持つ特殊性を考慮し出来る限り迅速かつ正確にと心が

ける風邪症候群によるものが目立ったようです。一般に本校の学生は熱心で、午前中からの発熱、腹痛などでも授業はかかさず出席し、夕刻以降になつて自己の体の異常を自覚するタイプが多く、そのため悪化し、入院までしてしまつた例が若干見受けられました。この点、自己管理を学生時代から工夫することが、医師になつてからの忙しいスケジュールをむりなくこなす訓練になるかと思われまふ。

最近の学生のなかには、糖尿病や高血圧症などに罹患している例が時折見られるようになり、睡眠障害の

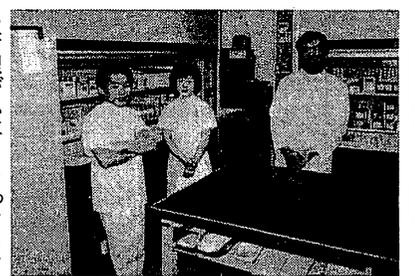
訴えも多い様です。時代の流れかなと思うほど、自身の経験年数が多いわけではないが、睡眠時間の不足、食生活の乱れ、種々のストレスなどが追い討ちをかけているように見受けられます。本人の自覚のみで解決出来ない点も一部あると思われまふが、慢性疾患をもつていても定期的に診療を続け、学生生活を順調に送っているかたも何人かいることを記しておきます。

また医学的知識がありながら、検診結果の判定を軽んじる傾向が一部の学生にあり、再三の再検査要求をいし非常勤医師による診療を掲示しておいたのにもか

製品の外觀変化についても随時観察するよう心がけております。なお、当院に採用されている注射薬の保管条件および固形注射薬の溶解後の安定性については、医薬品要覧の付録に収載の「注射剤取り扱い一覽」をご利用下さい。

毎年数多くの新薬が発売され、それに伴つて取り扱う医薬品も増えてきておりますが、これからも医療に携わる一員として、医薬品の有効性、安全性を保持するため、品質・供給管理には充分注意していきたいと考えております。

（薬品管理室長 三好敏之）



製品の外觀変化についても随時観察するよう心がけております。なお、当院に採用されている注射薬の保管条件および固形注射薬の溶解後の安定性については、医薬品要覧の付録に収載の「注射剤取り扱い一覽」をご利用下さい。

訴えも多い様です。時代の流れかなと思うほど、自身の経験年数が多いわけではないが、睡眠時間の不足、食生活の乱れ、種々のストレスなどが追い討ちをかけているように見受けられます。本人の自覚のみで解決出来ない点も一部あると思われまふが、慢性疾患をもつていても定期的に診療を続け、学生生活を順調に送っているかたも何人かいることを記しておきます。

また医学的知識がありながら、検診結果の判定を軽んじる傾向が一部の学生にあり、再三の再検査要求をいし非常勤医師による診療を掲示しておいたのにもか

以上わずかず三〜四ヶ月の経験ですが、感じたことを述べてみました。最後に内科担当として各科の先生方にいろいろ診療を依頼する機会が多く、また多忙な診療時間の中、御協力いただけたことを感謝しております。

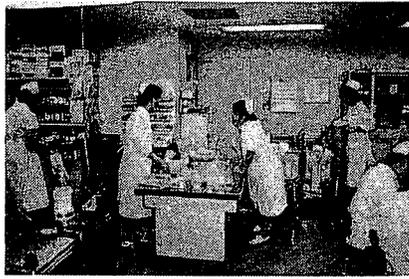
（第一内科 佐々木信博）

# 九階西NSの紹介

九階西NSは、昭和五十一年十一月に外科の混合病棟として出発し、昭和五十二年一月に第二外科の単科の病棟として、名称も新たに現在に到って居ます。入院診断は消化器外科疾患が中心で、近年、特に肝臓や大腸の疾患が増加しつつあります。

現在、スタッフは婦長以下十八名で、看護体制はチームナーシング制を基本として日常業務に当り、一部受け持ち制を導入して居ます。受け持ち看護婦には術後の看護計画と退院時要約を記入する事を義務づけておられます。看護計画はカンファランスで検討し、スタッフ間の統一をはかり、看護に携わっています。九階西NSを特徴づける一つとして、ストーマ(人工肛門)ケアがあります。術前のストーマ、マーキングから始まって、術後のストーマの観察、数多く発売されている器具の中から最も適当なパウチの選択、装着方法や洗腸療法の指導と、患者さんの自立までは三位一体となって丹念なケアと時間が要求されます。二点目として、日常業務の有り方やその意義なりを

深める為、各研究グループに分れ研鑽をつんでおります。次に、ターミナルケアの重要性も九階西NSの特徴の一つかと思えます。近年、高令化社会と共に手術年令も高くなり、心、技共に多くの看護力を要求され、核家族の増加もそれに拍車をかけている現状かと思えます。



(看護婦長 久保田芳江)

手術後患者の異常の早期発見、救急時の対応、基本的看護ケア、各種の患者指導、新しい医療機器への対応と学んだりなさねばならない事が沢山あります。患者さん、医師、スタッフ間のコミュニケーションを大事にしながら、私共の成長と共によりよい看護ケアが提供できるよう努力していきたいと思っております。(看護婦長 久保田芳江)

# 病院で働く人々の手

自動車の運行管理については会計課用度第一係が所掌し、小型乗用車四台(内ライトバン一台)、小型普通貨物車一台、大型貨物車一台、大型バス一台、他に特殊車輛のマイクログラス(遺体運搬兼用車)一台、救急車一台、大型除雪車二台の計十一台を保有し、運転手二名により運行しております。

小型乗用車は来客等の送迎及び業務連絡用に、小型普通貨物車は機材等の運搬用に、大型貨物車は教育研究に使用する車の運搬用として動物実験施設の職員の水を得て週に三日(火、水、木)富良野方面、名寄、士別方面並びに岩見沢方面の各市役所、役場、保健所への収集業務に、大型バスは学生の教育実習等に、マイクログラスは遺体搬送を兼用していることから主に学生の解剖実習に欠くことのできない御遺体の搬送用に、救急車は他病院への患者移送用に使用しています。また、大型除雪車は、緊急時における関係車輛の通行を常に確保するため構内の主要道路の除雪と患者専用駐車場、職員、学生及び来学者駐車

場の除雪を必要に応じて実施するために使用しています。なお、駐車場の除雪作業を実施する場合には、事前に文書及び学内放送によりその旨御連絡しておりますが、一部の車が放置されている場合があります。除雪作業に支障をきたすことがありますので、駐車場を利用している職員各位の除雪作業における御協力をお願いいたします。



西岡 平間 鐵田

本学においては、開学以来公用車による交通事故は発生しておりません。これも運転手一人一人が日頃各自の健康管理に留意し、また、本学の運転手としての自覚をもって常に安全運転を心がけている結果と自負しております。会計課としても、道路交通法の定めるところにより、北海道旭川方面公安委員会の認定を受

けた安全運転管理者(用度第一係長)を指名し、交通安全を確保するため、運転手の安全意識の一層の向上に努めております。また、自動車整備管理者を選任し、始業点検の励行等車輛整備についても日常的に万全を期しています。

昭和六十年末の道内の自動車保有台数は、一世帯当たり約1.2台(道民2.4人に一台)までに普及しました。職員におかれても多数の方が家用自動車を所有し、通勤あるいはレジャー等で使用される機会が多いと思いますが、交通事故は、「人」、「車」及び「道」の要素が複雑にからみあつて起きるものといわれております。自動車交通の安全を確保するためには、これらの要素をうまく調和させる必要があります。そのために、各方面で安全対策が推進されています。益々本格的な車社会への移行に備え、自動車を運転する一人一人が先見性をもつた安全運転に心がけ、交通事故の絶滅を図る必要があります。公用車の運転業務については、大学の事務事業が円滑に処理できるよう引き続き迅速に対応すべく鋭意努力しておりますので、各位の御理解と御協力をお願いする次第です。(会計課用度第一係)

この一年間、病院ニュースの編集委員長をとめ、多くの方々に原稿をお願いしてきましたが、どなたも快く執筆して下さいましたことを心から感謝しております。次号(二十一号)から新しい編集委員長のお考えに基づいて、ますます興味深い記事が毎号の紙面を飾ることと思えます。

交替に当たり、調査係の広瀬さん、千崎さんのお二人による絶大な御協力にも厚くお礼申し上げます。(編集委員長 宮岸 勉)

# 診療状況

	院 内		外 来
	入 院	稼 働 率	
1 月	15,638人	84.1%	14,415人
2 月	14,843人	88.4%	13,711人
累 計 (61.4~62.2)	172,387人	86.0%	161,803人